

学校長あいさつ

松原 敬之

「健康で よく学ぶ 心のゆたかな子」の育成を目指して —「やる気・ゆう気・げん気」のある池田小学校—

子供たちが校門を入り笑顔で挨拶を先生や仲間をしています。そんなほほえましい光景を祝福するかのようにさわやかな風がふいていきます。下記の教育理念のもと、元気で朗らかで地域に愛される学校づくりを目指します。

「学校はこどもたちのためにある。」子供一人ひとりをかけがえのない存在として認め、その持てる可能性を最大限に伸ばす教育活動をすすめます。そのためには、法令や小学校学習指導要領を基本としながら、県、市教育委員会の重点を踏まえ、本校の歴史と伝統、ならびに地域の実情、児童の実態に即し、知・徳・体の調和がとれ、自ら考えることができる、心豊かな児童を育成していきます。

学校は、集団での生活を通して、子供たちが基礎的な知識や技能を身につけながら、自分の良さや可能性を発見し、夢を持ち、自分を磨き、困難を乗り越え、将来を担うより社会人としての基礎を築くところ」であると思います。そのために、子供たちには、① 基礎的基本的な知識や技能 ② 相手を思いやる心 ③ 集団生活をお互いに気持ちよく過ごすためのコミュニケーション能力 ④ これからを支える健全な体力をバランスよく身につけさせる 必要があります。

また、「やる気・ゆう気・げん気」のある池田小学校の合言葉が輝くために、特に次の2点を育成したいと考えます。一つは、「子どもをほめて励ます教育の推進」です。子どもたちは、皆、今以上に良くなろう、がんばろうという意欲を元来もっているはずで、めざとくそれを見つけ、励まし伸ばすことが必要です。子どもは、自分を見つめてくれる人に安心感と信頼感を持ち、自分自身を自ら向上させようとしています。二つ目は、少々のつらさや厳しさに負けない心を育てることです。近頃の子どもは衝動的で忍耐力に欠ける傾向があると指摘されていますが、確かに物事をなす時に集中力に欠け、長続きしないことが見受けられます。きまり・ルールを守る、やってよいことと悪いことの区別のできる、我慢ができすぐ飽きないなど根気強い子を育てていきたいと考えています。